

パート労働黒書 V

最低賃金賃はいますぐ

1,000 円以上

めざせ 1,500 円!



人間らしく働き、暮らすために

パート法を改正し、同一価値労働同一賃金に!

雇用の原則は「均等待遇」と「無期雇用」

2018年3月 全国生協労働組合連合会

はじめに 働く人々をめぐる実態

1. はじめに

生協労連は、毎年「パート労働黒書」を発行し、非正規労働者の低賃金と深刻な働き方の実態をあきらかにし、低すぎる賃金実態、正規職員との賃金格差、生活できない賃金のためにダブルワーク、トリプルワークをしなければならないなど、多くの課題を浮き彫りにしてきました。生協労連がおこなった「2018年春闘準備のための生活実感アンケート」によると、「非正規」のみの収入で生活している世帯は4人に一人にものぼり、その中で「生活がかなり苦しい」と回答した人は、27.1%となりました。今回の「パート労働黒書」のききとりでも、若い世代の男性がダブルワークや、職種限定正規で長時間働いていて「将来に希望が持てない、生活に追われて気持ちに余裕がない」、年齢が上がるにつれて「税金や保険料の負担が大きい」など、生協で働く人々をめぐる実態は年々過酷な状況になっています。

2. 働く人々をめぐる全般的な状況

現在、非正規労働者は2,000万人を超え、非正規率は37.5%（総務省「労働力調査」）となり、賃金が200万円以下のワーキングプアが3年連続で1130万人以上（国税庁民間給与実態統計調査）になっています。労働者の実質賃金も1997年の453万円をピークに2016年には392万円と下がりつづけています。貧困率は2012年の16.1%から2015年は15.6%（国民生活基礎調査）へと若干減少はしたものの貧困ラインの122万円はかわらず、貯蓄ゼロの世帯も178.8万世帯と全体の35%に上るなど「働く貧困層」が増え、格差も拡大しています。私たちは誰もが人間として自分らしく生き、働き、暮らせる社会にしていける必要があります。

3. 「パート労働黒書V」から見えてきたもの

今回の「パート労働黒書V」でも今日の働く人々の実態と課題が見えてきました。以下はその概略です。生協やその関連会社などで働く人からの聞き取りは一部のものですが、労働組合のない職場のおかれている状況はさらに厳しいと言えるのではないのでしょうか。

- ① 時給が地域別最低賃金にはりつき、あまりにも低い賃金実態にあること。
- ② ダブルワークをしなければ家賃、食費、光熱費が払えない実態があること。
- ③ 体調が悪くても収入が減ってしまうために仕事にいかねばいけない実態があること。
- ④ 子どもが大学を卒業しても、その後の奨学金返済の負担が大きいこと。
- ⑤ 貯金をする余裕がなく、将来への不安があり、老後の生活もみえないこと。
- ⑥ 事故や病気の時の保障がなく、万が一何かあった時の不安が常にあること。
- ⑦ 最低賃金は今すぐ1,000円以上はあたりまえ。全国一律最低賃金制度と最低賃金の大幅な引き上げが求められていること。

1. 聞き取り編

1. 男性 30 代

属性	男性・30代
家族構成	7人家族 子ども2人 母親、妹、姪と同居
働き方実態	パート 一日6時間の週5日契約(8時~15時)時給1,045円 配送トラックに荷物を積み込む出荷業務 入職9年目 ダブルワーク(1日3時間×3日 時給950円) 委託の電話かけバイト 手取り18万円あるかないかくらい
暮らしの実態	家計の収入は、自分の給料と妹が同じ職場で働いていくらか入れてくれている。妻と母は双子の世話でいっぱい、小学校3年生の姪も同居している。 パートとアルバイトの仕事の合間に子どもの世話をするため今はダブルワークが都合良い。
困っている事	生活できない。ダブルワークしても追い付かない。年収は300万いかない。これから子どもたちにお金がかかることを思うと不安になる。条件の良い所があれば転職したいといつも考える。生活に追われて気持ちに余裕がない。
希望・要求	パートにも扶養手当が欲しい。 一時金も正規と同じように生活の足しになる金額が欲しい。 同じ職場の同じ職種で働く妹の将来を思うと、少しでも出荷業務の賃金を上げてほしい。

2. 男性 40 代

属性	男性・40代
家族構成	4人家族 妻・子ども2人
働き方実態	パート労働者 1日8時間週4日契約 時給1,380円 (8時50分~17時50分が週に2回) (11時~20時が週2回)の配送業務 入協5年目 第3月曜日は会議のため午前出勤と月に1回4時間出勤がある(予備日)
暮らしの実態	家は親の持ち物のため住宅費はかからない、光熱費だけ。 双子の子ども二人ともに発達障害があり妻は働けない。自分の収入が生活費となる。切り詰めるところは自分の小遣い、衣服、食費など。 車は持てず、移動するときは親の車を借りる。生協の商品は時々しか買えない。
困っている事	生活が苦しい。これからの子どもの教育費を考えると心配になる。

	<p>仕事が過密、休めない。 残業削減で、収入も減った。毎週毎週の供給促進のおすすめ（トマト、リンゴ、バナナを登録してもらい毎週お届けするなど）をしながら利用人数の目標をやりつつなかま作り、共済と商品のお届け以外にやらなければいけないことが年中ある。</p>
希望・要求	<p>賃金を上げてほしい。扶養手当を付けてほしい。 休めるようにしてほしい。</p>

3. 女性 50代

属性	女性 50代
家族構成	3人家族 子ども 23歳 収入あり
働き方実態	4時間×5日契約 時給 979円 年収 120万円
暮らしの実態	夫が昨年から非正規社員（派遣）になり、雇用不安がつきまとう。収入を増やすために、もう少し働きたいと思うが、今の職場では長時間契約ができなく、転職を考えている。
困っている事	
希望・要求	<p>最低賃金は上がらないと困るが、扶養内で働く私は、社会保障負担の壁が高く、130万円を超えることができない。 いくら春闘でがんばっても、130万円以上は働けない現実がもどかしい。 社会保障の負担を軽減してほしい。</p>

4. 女性 50代

属性	女性 50代
家族構成	2人家族 子ども 26歳 収入あり
働き方実態	6時間×5日契約 時給 909円
暮らしの実態	低所得なので公営住宅に居住。
困っている事	来月からひとり暮らしになるため、健康面が大変不安。もし何かあったとき、対処できるかどうかわからない。
希望・要求	<p>将来（老後）のために貯蓄をしていきたいが、今の時給では到底無理。何度も要求しているが変化はほとんどない。 パートは正規同様に生協のために働いている。時給の引き上げをするべき。</p>

5. 男性 20代

属性	男性 20代
家族構成	3人家族 父 60代 母 50代 実家暮らし
働き方実態	営業職 職種限定正規
暮らしの実態	
困っている事	給料が安い。将来性がない。残業が多い。有給休暇が取りづらい。総合正規職員と同じ仕事内容なのに、ボーナスに倍以上の差があ

	<p>る。退職金もすずめの涙ほどしかない。 課題の目標が非常に高い。総合職正規に変わる制度はあるが、非常に困難。 同じ雇用形態の人が少なく、立場が弱いと感じる。</p>
希望・要求	<p>同一労働同一賃金。自由に有給休暇の取得。 そのための人員の確保。賃金引き上げ。本当の意味で組合員第一の仕事ができる環境に。</p>

6. 女性 50 代

属 性	女性 50 代
家族構成	3 人家族 夫 子ども 25 歳
働き方実態	<p>毎月 20 日過ぎに次月のシフトが決まるのでギリギリまでシフトがわからない。次月のプランが立てづらい。毎月希望して休みを申請できるのがわずか 1 日のみ。レジや催事も担当する。 職員が一人なので急な休み（休みの変更）まったくできない。 常に欠員状態。社員の異動でパートの負担が増える。 担当部門責任者以外に相談できる人がいない。</p>
暮らしの実態	<p>夫が正規で働き 30 年になるので、比較的給料は安定している。 娘は働いていたが、ハラスメント被害に合い、退職して通院していた。就活はまだできない。 精神的に時間がかかる。収入がなく、貯金を崩して自分のことをしているが、貯金もなくなるだろう。</p>
困っている事	<p>税金、保険料などの負担が大きくなっている中で、自宅のリフォームも必要になり、貯金も減り、将来に不安がある。 別居している子どもたち 3 人は結婚しているが、それぞれの生活を切り詰めている。親の私たちが支援（送金）している。</p>
希望・要求	<p>介護の問題、年金の問題、税金の問題など労働組合でとりくみを強化して政治に訴えてほしい。</p>

7. 女性 20 代

属 性	女性 20 代
家族構成	単身・実家 食事は自分
働き方実態	<p>パート 週 19 時間契約 時給 777 円（最賃）ダブルワーク 契約時間外の週 3～4 時間働く。 もう一つの仕事はパートが休みの日には 7 時間、パートのある日は 4 時間程度。</p>
暮らしの実態	<p>今は実家で生活できているが、一人で生活するなら家賃と光熱費がかかる。地方での生活なので、車も必需品。</p>
困っている事	<p>国民健康保険と国民年金を払うのが大変。ひと月の支出のかなりを占めている。他にも車の維持費がかかる。</p>
希望・要求	<p>将来のことはあまり考えていない。せめて雇用保険があればいいと思う。時給も上がってほしい。</p>

8. 女性 30 代

属性	女性 30代
家族構成	3人家族 子ども2人
働き方実態	パート 週 16.75 時間 時給 810 円 契約時間以外に週 6~9 時間働く。契約時間が少ないので雇用保険対象外。
暮らしの実態	母子家庭なので公的支援もあり、とりあえず暮らせている。
困っている事	社会保険料の負担がたいへん。
希望・要求	今しか見ないようにしている。そもそもの時給が上がれば社会保険もかけやすくなるか。社会保険のある契約で働きたい。収入もほしい。

9. 女性 30 代

属性	女性 30代
家族構成	2人家族 子ども1人
働き方実態	パート 時給 1,210 円 週 35 時間契約 月収 15 万円くらい
暮らしの実態	子どもと二人暮らし。夕方には 6 時には学童に迎えにいかなければならないが、急な残業は断らなければならないため、普段の仕事で課題が達成できるように、自分なりの目標を決めてとりくんでいる。仕事の内容に比べて時給が安いと思う。
困っている事	今の月収ではぎりぎりの生活。
希望・要求	仕事の内容は正規職員と同じ。課題もある。 自分には扶養する子どもがいるため、一時金や、退職金、家族手当など正規職員と同じようにあれば長く働こうという意欲につながる。

II. 手記編

パートの手記 A生協

休みを取ると収入が減ってしまう

生協のスーパーマーケットでパートとして働き 7 年になります。学生の子ども 2 人を 1 人で育てています。少し前までは、実家で面倒を見てもらっていましたが、自立したくて家を出ました。そのため、どこかでダブルワークをしようと思っていたところ、夜間でも仕事させてもらえる事になり、助かりました。

契約時間を増やしてもらい、現在は朝 8 時半からの 3 時間半と夕方 17 時半から 3 時間半の 1 日 7 時間、週 35 時間で働き始めて 4 か月になります。

確かに収入は増えたのですが、実家を出て自立してまだ数か月。今後どのくらい支出があるか不安です。また体調をくずしても、休むと収入が減ってしまうので、体調が悪くても仕事に行けなくても、何らかのサポートをしてもらえると安心です。

もう一つ、私が働いていて思う事は、同じ内容の仕事をしていても、パートと正規職員では、給与が大きく違うんだなあという事です。

正規職員の方は、夏休みや冬休みのようなまとまった休みが取れるのに、パートはなかなか連続した休みは取れません。もちろん、ボーナスなども出るはずもなく、その賃金格差は相当なものです。そんな時、同じ責任を果たし、同じ質の仕事をこなしても、与えられる報酬は大きく違うという現実、嫌気がさします。

それでも、暮らしていかななくてはならないので、そんな正規職員を横目で見ながら、ただ黙って仕事をする毎日です。

パートの手記 B生協

働いていても将来への不安はかわらない

私は 50 歳代の男性です。配送担当をしています。時給は手当を含め 1,250 円で、年収は 280 万円です。ときどきダブルワークしながら年収の補てんをしています。子どもは 21 歳大学生と 18 歳高校生がいます。二人ともアルバイトを

して学費や小遣いをまかなってくれています。大学生の子どもは奨学金で大学に行ってもらっています。卒業と同時に大きなローンという借金を抱える事になるので、親としてもっと収入のある正規職員であったならばと、子どもに申し訳ない気持ちになります。

先日、一カ月ほど体調を壊して入院しました。その時にはたちまち生活が困窮するありさまでした。働けば生活が楽になり、豊かになるはずなのに、今だに将来に不安をかかえたまま。子どもたちには正規としてしっかりとした職業についてもらいたいと考えています。

パートの手記 C 生協

みんなが安心して暮らせる世の中へ

私には子どもが2人います。それぞれに奨学金を借り、進学の道へとすすんでいます。

しかし、奨学金といっても言い方を変えれば借金です。何百万という大きな借金をし、学校へと通っているのです。卒業し働くと、莫大な返済が待っているのです。なぜ借金をしたり、経済が理由で進学ができなかったりという格差があるのでしょうか。みんなが平等に受けられない教育にととても疑問を感じてしまいます。子どもの将来を考えると不安にもなります。今の時代結婚して子どもを育てるなんて物語にさえ思えてきます。私自身のことに関しても、そのうち来る老後のことを考えます。その前に親の介護もきっと来るでしょう。毎日の生活の中で、もう精一杯なのにこの先の将来についても暗くなるばかりです。たとえば病気にだってなるかもしれません。次の日から突然働けなくなるかもしれないのです。パートには社会的保障がありません。精神的、肉体的にも追い詰められる状況の中、仕事を退職せざるを得ない場合だってあるのです。生きがいだって奪ってしまうような現実、納得いきません。

働かなくては生活ができない社会、働きたくても働かしてくれない社会、今の時給ではやがて上がる消費税にも不安です。時給1,000円がきつと最低時給となってもおかしくないと思います。

私だけじゃないはずですが、この世の中に不安を抱えています。パートでも子どもでも高齢者でも病気を持っていたとしても、みんなが当たり前の幸せを、平等に安心して暮らせるようにと願うばかりです。

パートの手記 D 生協

子どもと二人で安心して暮らせる賃金を

私は、10歳の子どもの持つ30代のシングルマザーです。夫と離婚してさまざまな仕事をしてきました。離婚してからは、子育てをしながらダブルワークをして生活をしていました。

父が倒れ、ヘルパーの資格を取り介護をしていましたが腰を痛め退職しました。今でも重たいものを持つ事ができません。

生協に入協して4年目になります。生協では4時間の仕事をしながら、夕方からも別の所でアルバイトを2時間しています。腰を痛めてから身体に負担がかかる仕事ができなくなりました。しかし、ダブルワークをしないと家賃、食費、光熱費を払えません。

児童扶養手当と学用品などの就学援助は受けていますが毎月ギリギリの生活です。また、ダブルワークをしているので子どもと一緒にいられる時間が少なく、いつも淋しい思いをさせているのが気がかりです。

子どもの将来を考えると不安でたまりません。生協の収入だけで、生活ができるようになれば子どもと過ごす時間ができます。ダブルワークせずに生活できる賃金であってほしいです。今は子どもの教育費はあまりかかりませんが、あと数年すれば進学などお金が必要になってきます。毎月の生活費をやりくりするのが精一杯の状態、貯金もない、将来への不安、身体の不安心など先の事が考えられない毎日です。

パートの手記 E 生協

最低賃金が1,500円になれば

コープの店舗に勤めて26年になります。はじめは午前3時間の短時間パートでしたが、子どもの成長とともに長時間のパートからキャリアパートになり、60歳を過ぎて今は長時間の管理パートをしています。

我が家は現在、夫と私の二人暮らしです。夫は自営で配送の下請けをしています。子どもたちが独立して二人暮らしですが、生活が楽になったと感じることはありません。夫は自営なので定年はありません。でもその代わり退職金もありません。病気や事故の場合の保障もなく万が一の時の不安が常にあります。

そんな中、私のパート収入は生活していくうえで重要です。最近では夫と二人なので食費や被服費を切り詰めています。自分の働くお店ではなく、チラシを見て安いお店で買うこともあります。外出を控えれば洋服も買わなくて済みます。店と家の往復だけなら着るものにお金はかかりません。

それでも住宅ローンや各種税金の負担は大きくなかなか貯蓄までまわりません。我が家はマンションなのでローンが終わっても修繕積立金や管理費の負担は続くので、老後は年金だけでやっていけるのか心配です。

地域によって最低賃金が違いますが、東京のお店と仕事内容は同じだと思います。せめて東京並みの最低賃金になってもらいたいし、最低賃金が 1,500 円になれば友人からの誘いを断らずに出かけることもできるのかな、と思います。「時給が 1,500 円になったら病院に行きたい」という若者の言葉を聞いたことがあります、まさにその心境です。

原発や平和の問題など心配なことはほかにもありますが、やはり自分の生活の安定が一番です。

パートの手記 F 生協

子どもが病気のときもお金の心配がある

午前中は週 5 日生協で働き、午後は週 3~4 日高齢者住宅で調理の補助をしている。両方とも時給 900 円台だ。ダブルワークで一日 8 時間を超えて働いている。

15 年前に商売が行きづまり負債をかかえてしまった。パートナーはそのときから非正規で働いている。今は駐車場管理のアルバイトだ。パートナーの年収 200 万円、私の年収は 190 万円。貯金はない。月末は赤字だ。今も借金を返済中だ。国民年金の支払いも 4 分の 1 は免除をしている。

3 人の子どもたちに、世間から笑われない程度のことをさせたかった。大学や短大にそれぞれ通わせたが、全員奨学金を借りた。一番上の子どもは 700 万円。40 歳過ぎまでローンで還すことになる。2 番目の子どもは 300 万円。3 番目は今年 100 万円を借りている。塾代を払うのにも、ローンで借りたほどだ。

生協で働く前は金券ショップの店員だった。時給 900 円で、どれだけ働いても時給があがらない。立ちっぱなしの仕事だった。その前は葬儀屋のホールで働いていた。時給は 1,000 円。社員から「バカヤロー」「ちゃんと仕事をしろ」といわれた。ここで我慢することはないと思い辞めた。

40 代後半になると、応募をしても年齢のせいかわからぬ。8ヶ所連

続で断られたときは、参った。子どもが病気をしたときに、お金の心配をするのがつらい。実家からは、今でも食べものを送ってもらっている。

将来の展望はないが、子どもとしゃべっているときが一番楽しい。

パートの手記 G生協

同一労働同一賃金・均等待遇の実現と社会保障の充実を

供給パートとして入職し9年の歳月が経とうとしています。その間に離婚を経験し、当時8歳の子どもが今は大学1年となり、時の早さを感じています。

入職時は半日勤務のパートでした。生協の仕事だけではとても生活ができず、ダブルワークをしながら内職もし、休む時間もなかったただ働いていました。現在はリーダーパートとして一日勤務しています。供給パートは正規より働く時間が短くだけで職員と同じ仕事をしています。しかし賃金には大きな差があります。長く働いていても経験給はわずかに上がるだけなので、長く働くことも難しく、人手不足が解消されない中で、パートの健康面や精神的な疲労も懸念される職種です。リーダーパートも月給化にはなりましたが、基本給は同じ仕事をしている正規とは5万円くらい差があります。一時金支給月数も違いますから、年収での差はさらに大きくなっています。同一労働同一賃金、均等待遇を求めたいです。

また、私が勤務している生協は、3県の生協がひとつになった協同組合です。正規職員が一番高いところに合わせた賃金体系に統一されていますが、パートは各県の最低賃金が違うために、基本時給と基本給に差があります。同じ仕事をしているのに最低賃金が高いところと低いところでは基本時給で125円、月給制管理職パートの基本給では15,800円も差があります。春闘秋闘をたたかう中で理事会は、格差縮小の方向で考えると回答していますが、一刻も早く統一してほしいです。それとともに最低賃金格差もなくさないで、地方は過疎化がますます進み、介護問題等深刻な状況が改善されません。全国一律最低賃金1,000円の早期実現は身を以て感じています。

子どもも大学1年になり、仕送りをしています。お金がないからと子どもの教育を受ける権利を奪うことはできません。親としての責任、そして憲法26条で保障された権利を行使させたいと思っています。憲法25条で保障された健康で文化的な生活はダブルワーク、トリプルワークではできません。ゆっくり食事を取る時間もなく、子どもと会話する時間もありません。子どもの貧困、子ども食堂などこんなに物があふれる時代になったのにさみしい言葉がうまれた背景には親の厳しい実態があります。

給与が少し上がっても消費税が10%になれば買い物を控えるしかありません。税金、社会保険料も毎年上がり給与明細を見るのが怖くなります。国は、国民全体が健康で文化的な生活が送れるように知恵をだし社会保障を充実させてほしいと強く思います。

パートの手記 H生協

トリプルワークでも生活は厳しい

25年前に離婚後、ずっと正社員として働いてきた。店舗が閉店し、自分の働いていた店がなくなることになった。移転先がとても通うことができない距離で退職を選んだ。職業訓練学校に通った。しかし、50歳になると正社員で働きたくても職がない。医療事務と生協のダブルワークで働くことにした。病院は時給900円。一時金はない。週5日4時間働いている。ここの職場は「パートに有給休暇はない」と言われるような職場だ。

生協では週5日×4時間働いている。在宅ワークもしているので今はトリプルワークだ。月収20万円で生活している。正社員なら社会保険が手厚いが、パートで働くことでの落差を思い知った。65歳から年金をもらうことになるが、元気なうちは70歳まで働こうと思っている。幸い、息子が一人前に働いていて、生活費は入れてくれている。

(全合製合協働労組主国全) 監発謝全

〒151-0051 東京都港区千代田4-1-9 南都ビル8F

電話 03-3408-0067 fax 03-3408-8955 Email GYG08057@nifty.com

生協労連（全国生協労働組合連合会）

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-1-9 南部ビル 3 F

電話 03-3408-0067 fax 03-3408-8955 Email QYG03057@nifty.com